

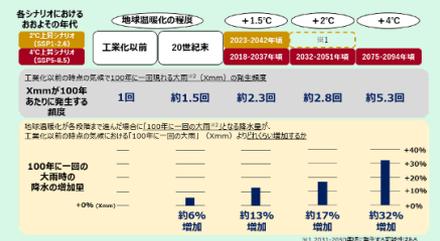
# 気象庁

- 防災気象情報（河川氾濫、大雨、土砂災害、高潮）を5段階の警戒レベルにあわせて発表します。
- 対象災害ごとの情報として整理するとともに、**レベル4相当の情報として危険警報を新設します。**
- **情報名称そのものにレベルの数字を付けて発表します。**（例：レベル4大雨危険警報等）

## 新しい防災気象情報の情報体系とその名称

	河川氾濫 1級河川などの 大河川の氾濫	大雨 低地の浸水や 大河川以外の氾濫	土砂災害 急傾斜地のがけ崩れや 土石流	高潮 海水面の上昇や 波の打上げによる浸水	(警戒レベルごとの) 住民が とるべき行動
警戒レベル <b>5相当</b>	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報	命の危険 直ちに安全確保！
----- <警戒レベル4までに危険な場所から かならず避難！> -----					
警戒レベル <b>4相当</b>	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報	危険な場所から全員避難
警戒レベル <b>3相当</b>	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報	避難に時間を要する人は早めに避難、避難の準備など
警戒レベル <b>2</b>	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報	避難行動を確認（避難場所や避難ルート、避難のタイミングなど）
警戒レベル <b>1</b>	早期注意情報				災害への心構えを高める

## 日本の気候変動について 気温や降水など要素ごとに 最新の観測結果と将来予測 をまとめた報告書



今回の報告書では、温暖化レベルに応じた極端現象の頻度/強度変化を初めて掲載



気候変動影響評価や  
気候変動対策検討の  
基盤となる情報を提供

取りうる対策の  
具体例を知りたい



## 気候変動時代の水防災を紹介 要望に応じてシンポジウムを開催 (地方公共団体等の担当者向け)



気象庁 気象庁 気象庁 気象庁

「日本の気候変動2025」と  
地域防災を考えるシンポジウム

2025年12月18日(木) 13時30分～16時30分

気象庁講堂(関係者のみ) / オンライン(一般傍聴可)

激化する災害、問われる備え

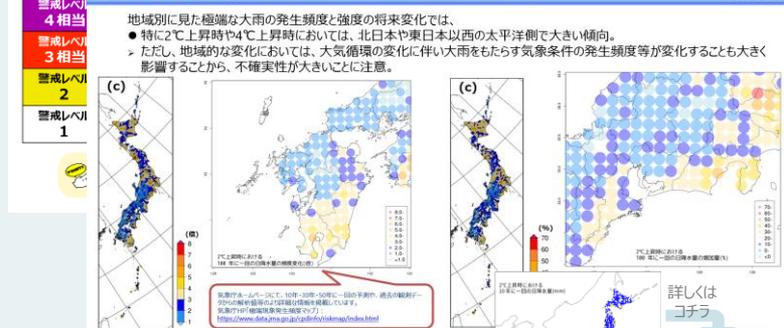
地球温暖化の進行に伴い水災害のリスクが高まっています。  
「日本の気候変動2025」が示す予測をどう受け止め、  
地域防災の現場でどうするか、行動への道筋を探ります。

司会進行  
林 美穂

### 新たな防災気象情報(R8出水期から運用開始予定)

新しい情報体系・名称	河川氾濫	大雨	土砂災害	高潮	住民が とるべき行動の目安	
警戒レベル 5相当	1級河川以外の 大河川の氾濫	氾濫特別警報 レベル5	大雨特別警報 レベル5	土砂災害特別警報 レベル5	高潮特別警報 レベル5	命の危険 直ちに安全確保!

### 降水(将来予測) 100年に一回の大雨(日降水量)の将来変化



気象庁  
地球温暖化に伴う降水の変化や  
新たな防災気象情報について解説

確率降水量  
(現在X℃上昇時の  
X年に一回の降水量)



### 流域治水の具体事例

#### 九州地方整備局

九州地方における流域治水の取組

- ✓ 国・県・市の連携事例や民間の協力事例
- ✓ 自分事化推進の取組事例  
(企業BCP作成支援、体系的な学習プログラムなど)

#### 静岡県

関係者と共に進める流域治水の取組

- ✓ 貯留施設等の整備、リスク情報空白域解消、協議会の設置など
- ✓ 過去の災害に学ぶ自分事化、防災教育

#### 倉敷市

災害に強い地域をつくるための取組

- ✓ 河川改修、事前放流ルール構築、田んぼダム活用、備蓄倉庫整備、情報発信強化、防災教育推進、要支援者への支援など

気候変動を踏まえた防災を支援する立場  
気候変動を踏まえて防災に取り組む立場  
それらを客観的に取材し報じる立場  
それぞれから講演



YouTube 気象庁/知識・解説  
にてアーカイブ動画公開中

#### 毎日新聞記者

長年の取材経験を活かし、世論調査の結果を基に防災意識について考察

- ✓ 家族の健康や老後の生活などと比べ、防災は必ずしも最優先ではないという事実はどう向き合うか